

「自然災害から暮らしを守る」

③水害に備えた取り組み(後半)

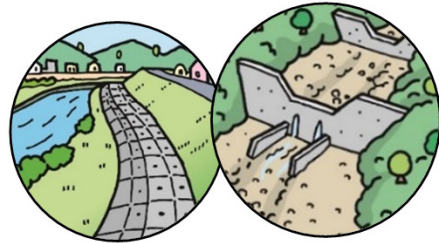
水害から暮らしを守るためにはたらく人たち

水害から暮らしを守るために働く人たちの「いつもの仕事」と「災害時の仕事」の内容から、正しい職業についてア～エから選びましょう。

いつもの仕事

()

堤防やダムの工事をしたり、川のようにすをパトロールしたりしています。



()

災害に備えて訓練をしています。



()

ひなん 避難訓練を行ったり、ハザードマップや避難の計画を作ったりしています。



()

雨が降る量を予測しています。

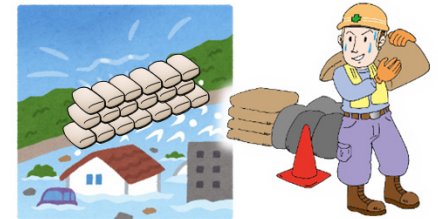


さいがい 災害時の仕事

川の水があふれないように、川を監視したり、水門等の施設を操作したりしています。



川の水があふれないように、土のうをつんでいます。



人の命を助けます。



ひなん 避難情報を発表します。
ひなん うんえい 避難所を運営します。



気象情報を発表します。



ア:石狩市役所、イ:国(北海道開発局札幌河川事務所)、ウ:国(気象庁)、エ:警察・消防署・自衛隊・水防団・消防団

水害からくらしを守るためにできること

これまでの授業で学んだことを思い出して、水害からくらしを守るために自分たちにできることを考えましょう。



お家の人と一緒にできることは何かあるかな？



地域に住む人たちと一緒にできることは何かあるかな？

-
-
-
-
-

【 ヒント：自分たちにできることの一部 】



何かの地図を見て、話し合っています



逃げる時の道具を集めた袋です



どこかへ集まる練習をしています